

質問④ 義務教育としての部活動がその目的を踏まえ、休養日がきちんと確保され「週2日」になっていく方策を伺います。

答弁④教員の担うべき業務に専念できる環境の確保や、生徒の多様な体験の充実、健全な成長の促進の観点からも、部活動の適正化は必要であり、適切な休養日を設定することは、重要なことであると認識しています。

現在、県が実施している教員の多忙化解消のための協議会の検討においても、中学校においては、週2日以上休養日を設定することが検討されており、今後の県の動向を注視するとともに、校長会等において、部活動の適切な運営について、引き続き、指導していきたいと考えています。

質問⑤⑥ 合宿代やユニホーム等の費用額に今後、全ての家庭が負担し得る「基準」を設けていくことへの考えを伺います。

また、各種大会や遠征等における「車出し」の頻度等、家庭の時間的、物理的負担の「制限」を含めた軽減策を伺います。

答弁⑤市内中学校を対象として実施した調査の結果では、年間の平均負担額として、宿泊を伴う大会等への参加代が約2,300円、ユニフォームや用具等の購入代が約16,600円の費用負担が生じています。

そのため、各中学校では、部活動で必要となる物品の購入に際して、保護者の費用負担をできるだけ少なくするように配慮しています。

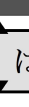
部活動において、全ての家庭が負担し得る「基準」を設けることについては、種目等により、必要となる費用も異なってくるため、一律の基準は設定しづらい面がありますので、引き続き、保護者の費用負担に配慮するよう、各中学校に対して、指導していく考えです。

⑥調査の結果では、各種大会や遠征等における、一家庭当たりの車出しの頻度の平均は、1ヶ月に1.5回となっています。

部活動の運営に当たっては、大会への生徒の送迎につきましても、保護者会を中心として、配車の調整を行っていただいておりますが、家庭の負担を軽減するためにも、大会等の計画を早めに家庭へお知らせするとともに、公共交通機関の活用も含め、指導していく考えです。

熱心な関係者にとっては
どうせやるなら
トップが狙えるレベルまで…
厳しくても結果の出せるような

義務教育としての部活に



はこの大きな幅が存在

普通な関係者にとっては
全員加入だから…うちの子は運動
が苦手だし勉強も心配
結果より友人作りとプロセス重視

質問⑦部活動の現場の実態把握や部活動運営への意見を多面的に捉えるための部署や組織の検討について伺います。

⑧部活動の受け皿として、民間の組織や地域総合型スポーツクラブの活用について伺います。

答弁⑦部活動運営を円滑に進める上では、生徒や保護者の方々の意見を多面的に捉えることは、大変重要なことであると認識していますので、ご指摘のありました部署や組織の設置を参考に各校の部活動の運営状況を勘案しながら、生徒や保護者の方々の意見を広く吸い上げる仕組みについて、研究していく考えです。

⑧現状では、部活動の受け皿となる民間の組織や地域総合型スポーツクラブをなかなか確保できない状況があります。

今後、関係機関等と連携を図りつつ、民間の組織や地域総合型スポーツクラブの活用を含めて、先進的な自治体の取組を参考にしながら、部活動の在り方について研究していく考えです。



部活動に限らず、生徒や家庭が自由に何でも発言し、相談できる状況は実際には実現は厳しいと思います。

それは、学校に限らず保育園でも介護施設でも同じですが、本人は家庭に、家庭は本人に「気遣い」遠慮してしまう構図がそこにあるからです。

しかし、義務教育は社会のシビル・ミニマム（最低基準）なわけですから、その事を十分に踏まえた上で、誰もが気後れや気兼ねなく、学校活動が満喫できる仕組みや体制でなくてはならないと考えています。

今回の新ガイドライン発効を契機に、新たな時代に即応した学校への変身を心より願います。

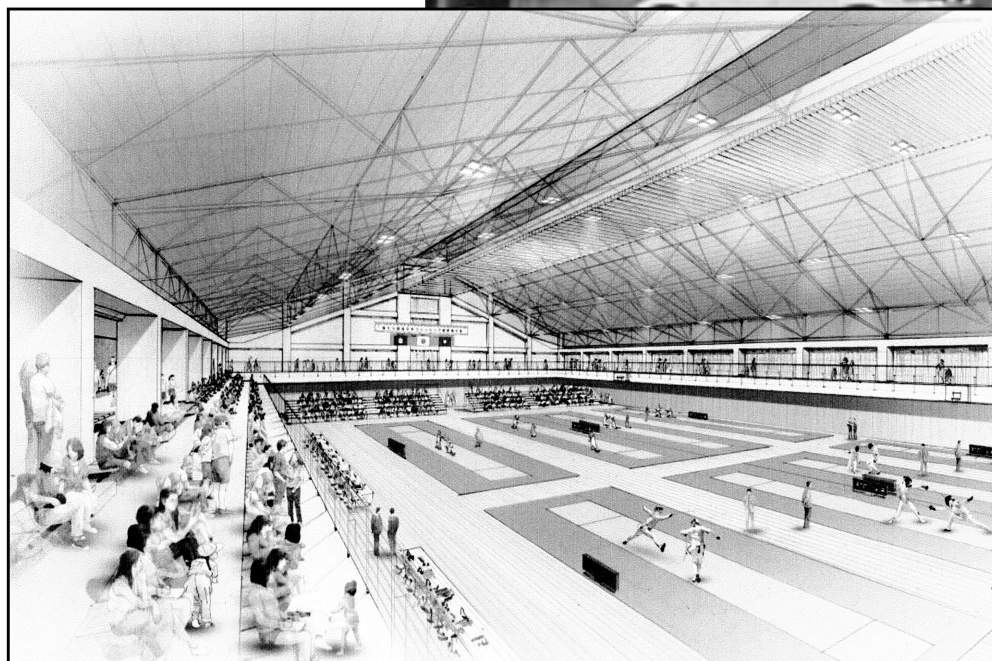
高柳かつみと

2018年 冬期 NO57号

歩む会ニュース

発行責任者 高柳 勝巳 〒378-0055 沼田市柳町2583-8 ルピナス103号 ☎ 25-8062
ホームページ <http://www.ayumu-kai.jp/> Eメール xx.takayanagi-po@au.wakwak.com

沼田給食センター外観→
平成12年建設で、鉄骨造
2階建 延面積：1,888.45㎡
現在の給食数は4,220食。
白沢調理場の給食数は380食
利根調理場の給食数は450食
を約40人で作っています。
利根西小学校跡地に炊飯
機能やアレルギー対策を充
実させた新給食センターを
建設する提案がありました。



←沼田市民体育館改修後の
イメージ図（市HPより）

現在の体育館と大きく変わらない風貌だが、奥の方に増設型と思われる観客席が描かれています。

ここは、都市計画用途で「複合住宅市街地」と指定され、第一種住居地を含む地域で、用地の拡張含めて、利活用の制限があり、形は同じで「質的向上」を図る内容となる予定です。

新年明けましておめでとうございます。今号は昨年9月号が衆議院選挙で、発刊できなかったため、12月との合併号となることを、お詫びしながらのニュースとなります。

57号の概要

●9月定例議会から私の一般質問①

公共施設建設の財政推計について

沼須運動公園の適正性について

新給食センター建設の内容について

●12月定例議会から私の一般質問②

運動部活動の新ガイドライン作成に向けて
義務教育と保護者負担の在り方について

新給食施設建設と 今後のあり方について

市長は兼ねてより「沼田の旨い米」を給食で食べさせてあげたいと話していましたから、今回の「急遽」とも思える「新給食センター」建設の提案も、自分にとっては意外ではありませんでした。

ただし、高額な事業費ですから市長の「想い」が空回りでは、議員としては困りますので、市長の構想と教育委員会の具体的計画が「一体化」しているのかを中心に質問しました。

【質問】 白沢・利根の調理場は築30年以上が経過し老朽化していますが、沼田給食センターは平成12年に建設されたもので、他の施設に比べてまだまだ新しい方です。この事業費は合併特例債を見込んだものと推察されます。

ここ一・二年で仕上げたい事業は他にもあると考えられる訳ですが、旧利根西小学校跡地に計画することになった新給食センター建設の教育委員会としての検討経過について伺います。

また、この件がいつ頃から本格化し、どんな経過で今回の提案となったのか詳細をお聞かせ下さい。

【答弁】 利根沼田産を含めた群馬県産米がブレンドされ、群馬県学校給食会より御飯として提供されています。

本市の児童生徒に利根沼田産の美味しいお米を週3回提供する場合には、年間約40トンが必要になると試算しています。

しかし、利根沼田産のお米は評価が高く、多くは縁故米等で比較的高値で取引されていること、高齢化が進み耕作面積が減少していることなどの課題も多くあります。

【質問】 本施策においてアレルギー対策や地産地消の推進等の具体的内容について、どのような効果が期待できるのかお聞かせ下さい。さらに、新給食センターでは炊飯機能も備えると聞いていますが、米飯給食の回数増を含めた利活用の検討内容についても伺います。

【答弁】 本市のアレルギー対応者は年々増加しており本年度は94名となっており、対応は非常に困難な状況となっています。しかし、給食は



白沢調理場全景

全ての児童生徒に「食の大切さ」「食の楽しさ」を理解する大切な役割を担っていることから、食物アレルギー専用室を設けたり、アレルギー給食専門の栄養士と調理員を配置したりするなど、できる限りの対応を検討しています。

地産地消の推進等については、児童生徒が郷土への理解や関心を深め、地域の農業や食文化の理解が深まるなどの教育効果が期待できることから積極的に取り組みたいと考えています。

今後、本市では、週3回の米飯を週4回への回数増加を検討するとともに、利根沼田地域のブランド米等の提供も行い、地域の農業や食文化について学ばせたいと考えています。

全国には既に

食育体験レストラン、タニタの食堂 さらに給食が食べられる居酒屋

「鮭の遡上」のように、一度学業や就職で都市へ出ても、子ども達は地元の食のおいしさを記憶していて、これを都市で宣伝し、最終的には沼田市へ戻ってきてくれる強い動機になれば良い。とも市長は語っていたが、それにはそれを実現できる体制を整備していくことが、次のステップです。

それは、

食育をまちづくりの中心に据え まちぐるみで推進していく

それには、先進地は沢山ありますが、食育関連条例を策定して目標を掲げ、具体的取り組みを示し、地域、学校、関連団体や企業が総ぐるみで食を軸にした景気循環や環境連環、コミュニティ再生等とつなぎ合わせて一体化していくことです。

現在の沼田市の食育関連は「健康沼田21」の一部として掲げられてはいますが、今後取り組む「スマートウェルネス沼田」の実践計画と合わせてレベルアップが期待されます。

ローン返済は大丈夫でも 財政体質の改善は必要

一般家庭でも、ローン以外に財政に関して心配な要素は他にあります。それは

- ①収入の減少への備え
- ②電気代や光熱費などの公共施設の維持費抑制
- ③ローン以外の無駄使いの点検等が必要です。

①収入の減少への備えについて

4億8千万円のシェイプアップが必要

合併したことによる交付税の「算定替え」で増額された国からの交付金は、H31年度までの5年間で徐々に削減され、最終的に4億8千万円の減額となります。これは、つまり沼田市の予算規模を縮小するということです。

H29年9月定例会 私の一般質問①

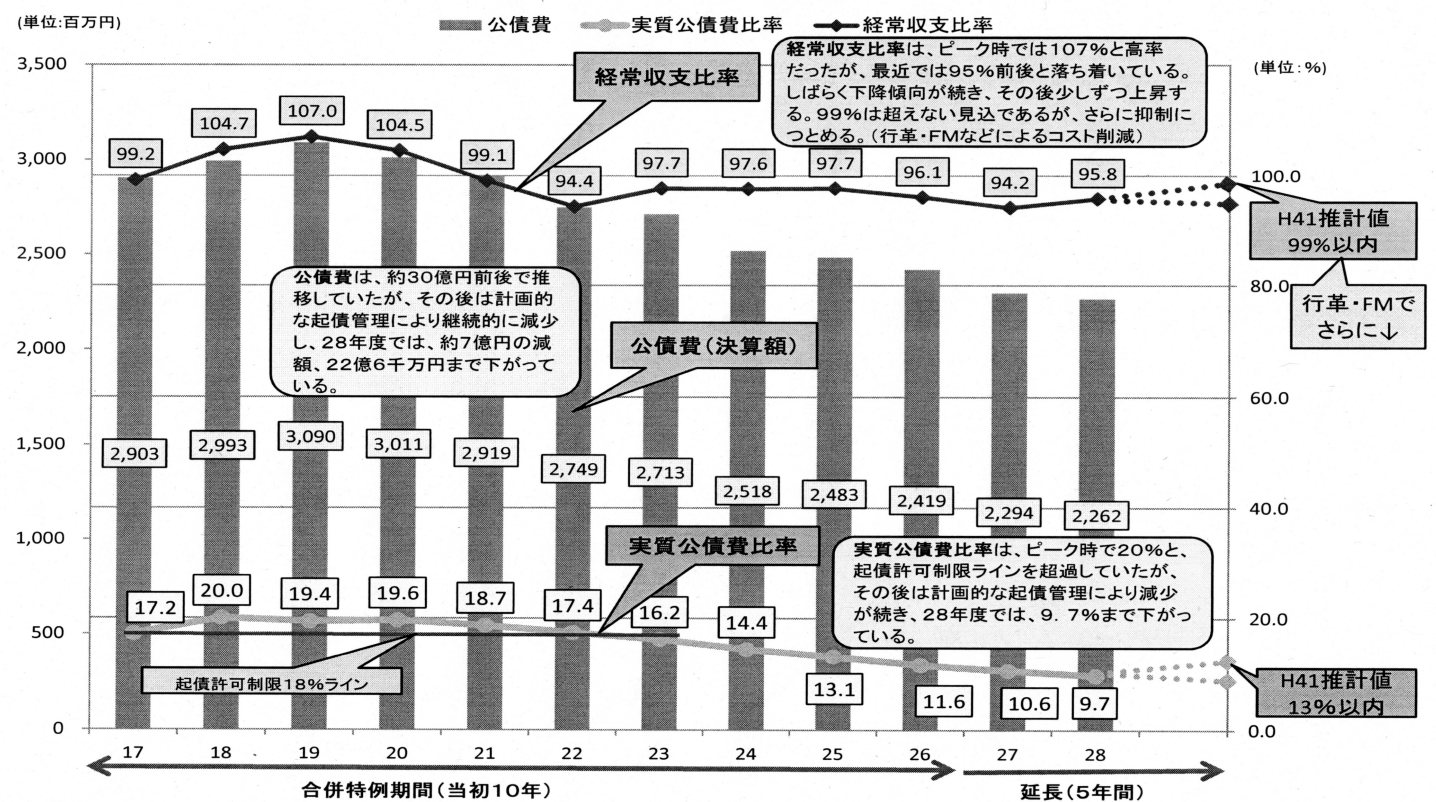
インフラ整備への 基本的な考え方

以上のような問題意識で「公共施設建設修繕ラッシュ」といわれる中、その真意と具体的内容について、市民の皆さんに少しでも明らかにしようと①～②を軸に質問した次第です。

人間の体質改善=自治体の経常経費削減

自治体の経常経費には、人件費、扶助費などもありますが、今回は公共施設の維持管理費にスポットをあてました。この4億8千万円を公共施設の「無駄」から捻出できれば、他の項目から削減の必要がなくなります。

公債費・実質公債費比率・経常収支比率の推移



上の表は、財政課の公表した沼田市の財務指標の推移です。

【公債費】＝前半は約30億円で推移していたが、22億円台まで縮減した。

【実質公債費比率】＝最大20%があったが、現在は9%台まで縮減された。

【経常収支比率】＝一時は107%まで達していたが現在は97%まで改善された。

こうした数値は、沼田市財政が体質改善されてきている事実ではあります。

一般家庭では「使い道の決まった」 お金の比率が高いと苦しい家庭と評価

しかし経常収支比率とは、一般家庭で言う住宅ローンや教育費、各種の保険等の「固定的必要経費」で、お父さんやお母さん含めて世帯総収入をこの経費で割り算したものです。

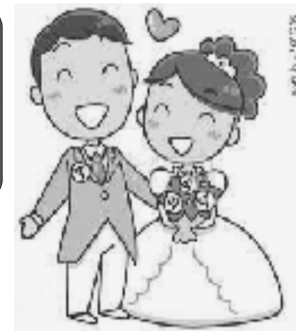
この数値は一般に75%が望ましいとされ、さらに実質公債費比率では、つい10年ほど前には借金が自由に出来ない起債制限比率20%を越え、県の許可団体であったことは戒めとすべきです。

箱物ばかり立て続けに建てて財政は大丈夫？ 必要性・緊急性？更にその具体的内容は？

市長が変わって4年が経とうとしています。「決断と実行」をスローガンに掲げ、懸案だった事業などが一斉に動き出しました。しかし、そこで市民の皆さんが心配になるのは「財源と今後の推計」だと考えますし、私も心配でしたので、今回は「合併特例債」を活用して新築・改修される予定の「箱物」事業の具体的な内容と財政の問題を市長・教育長に聞いてみました。

財源確保問題 財政推計含め 合併特例債って？

両親からの結婚祝い金
(国からの借金返済交付金)



新たな自治体の一体感に資する事業が対象
事業総額95%が合併特例債という借金可能
その内70%相当額を国が市へ交付

簡単に言うと…

3割負担の 自治体ローン

総額の5%と
国が面倒みない30%の
合計額が沼田市負担

つまり、100億円の事業費が自己資金（沼田市負担額）30億円で済むということです。
ただし、この有利な「借金立替システム」は、総金額を含めH31年度までの期限付きです。

では現在抱えているローン額は？

基金という貯金の総額は、約67億円。
その内訳の主なものは、財政調整基金＝33億円
合併振興基金＝18億円、庁舎整備基金＝5億円
沼田城建設基金＝6700万円など
借金の総額は約186億円。毎年約25億円程づ
つ支払い・返済しています。この中で断トツ高額

なのが、望郷ラインの年額2億7500万円です。
この返済がH30年で終了し、それに変わって
下の表のように「年額約1億円」の30年ローン
が開始されるということになります。
従って、今後沼田市が合併特例債事業費の返済
によって「借金地獄」に陥るケースは考えにくい
と思料されます。



合併特例債とは、例えば、
結婚前の独身男女が、それぞれの世
帯で持っていたテレビ・冷蔵庫・洗
濯機などの生活必需品。

両親が結婚のお祝いに新しくて高機能なテレビなどを新婚家庭にプレゼントして、そのローンの70%を両親、つまりここで言う国が補填をしてくれるシステムと考えると捉えやすくなります。そこで肝心なのは…

①特例債対象事業は「生活必需品」かどうかしっ
かり見極めること。

②別々に持っていた古い家電をそのまま使い続
けると、電気代等の維持費が嵩むということ。
に細心の注意が必要で、計画的に整理して
いかないと維持費が家計を圧迫してしまいます。

		合併特例債活用対象事業実質負担額内訳表				(単位：千円)		
事業名	事業費	合併特例 債対象額	交付税 収入額	差引額	年額	返済総額内訳		
						総額（30年）		
						元金	利子	計
給食センター	1,687,000	1,222,600	855,820	366,780	12,413	366,780	5,561	372,341
利南運動公園	1,997,690	1,897,800	1,328,460	569,340	19,269	569,340	8,632	577,972
市民体育館	1,029,376	930,407	651,284	279,123	9,447	279,123	4,232	283,355
テラス沼田	4,914,000	3,801,700	2,661,190	1,140,510	38,600	1,140,510	17,292	1,157,802
その他：横塚生		2,147,493	1,503,246	644,247	21,804	644,247	9,769	654,015
品道路、利根小		10,000,000	7,000,000	3,000,000	101,533	3,000,000	45,486	3,045,486

運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン 再度学校部活動の諸課題の克服策

作成を受けて本年度3月に引き続きの課題ですが、考えてみると中学校で一番長時間学校によって「拘束」されているのが、運動部活動です。平日は最大3時間、土日はどちらか4時間を原則として活動が取り組まれています。これはどんな重要な授業科目でも比較になりません。

この時間と労力に対する効果や結果が、公平に適正に評価されなくては義務教育としては、やはり問題があると考え質問に立ちました。

質問① 部活動は「自主的な教育活動」という位置付けは解消されるべきと考えるが、その見解を伺います。

答弁①部活動は、学習指導要領において、生徒の自主的・自発的な参加を前提として、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるように留意することが示されております。

生徒の自発的な取組や自主性を尊重した部活動の在り方につきまして、今後、研究していく必要があると考えております。



中学校習指導要領（平成33年度全面实施）
第1章 総則 学校運営上の留意事項

1 ウ …特に生徒の自主的自発的な参加により行われる部活動については…学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。

授業のようで授業でない？ ことが問題の本質と考えます

先にも述べたように、部活動は「教育課程」との関連が図られるよう「努力」はするが、正式な授業までには至らず、「曖昧」なまま。

なのに、学校生活の中で断トツに長く、厳しい時間を過ごすのが部活。（教師、生徒、家庭）さらに授業ではないとすると、マニュアルも評価基準も「曖昧」で、教師にとっては勤務時間なのかボランティアなのか？

生徒や家庭にとっては、一生懸命にやっても果たして「部活動の評価」はどうされるのか？進学等への評価にどのように反映されるのか？心配で不安になってしまいます。

極論を言えば、授業として学校で責任を負えないなら、いっそのこと文科省の示す多様なニーズに応じたサークル活動化、総合型クラブとの連携を急ぐべきと考えます。

質問② 現在は任意である部活動に割かれる負担割合が、本来業務である授業自体を圧迫している現状改善への対応策を伺います。

答弁②現在、県において「教職員の多忙化解消に向けた協議会」が組織され、その中で、適正な部活動の運営に向けて、週当たりの休養日の設定や、活動時間等を示したガイドラインの策定に向けて検討されており、県内の全市町村教育長の会議においても、協議を行っているところです。

また、国や県において、部活動指導員の配置に向けた予算化も検討されていることから、本市といたしましても、部活動指導員の試験的な配置に向けて検討しているところであり、教員の担うべき業務に専念できる環境づくりに努めていきたいと考えています。

質問③ 新たな時代へ向けて「自主的な部活動」の加入・転部・退部の考え方や手続きを改めていく必要性や考え方を伺います。

答弁③本市では教育部活動として、勝利至上主義に陥ることなく、生徒の心と体を鍛えていけるように推進しているところであり、全員が部活動に所属することを原則としています。

転部や退部については、転部等が必要な状況が生じた場合には、部活動顧問や担任等に相談し、保護者を交えた話し合いを行い、該当生徒にとって適切な選択を判断して対応しています。

また、学校外のクラブ等に所属している生徒につきましては、生徒や保護者の意向を生かすようにしています。

部活動への加入については、放課後に生徒を受け入れる受け皿となる、地域の組織や施設などの課題を考慮しながら、今後、研究していきたいと考えています。

H29年9月定例会 私の一般質問①

基礎的インフラ整備と維持管理費に対する考え方

これまでの沼田市財政への問題意識の上に立って、表記の質問をしました。

質問：本年策定された沼田市公共施設等総合管理計画では、高度成長期に一斉に整備された公共施設の半分が築30年で老朽化し更改期を向かえているが、経済も人口も右肩下りの状況下では、これまで同様にはいかないとしていて、私もこのことについては同感であります。

しかし、だからこそ市民の皆さんが心配していることは、何故、今、この施設整備なの？この内容なの？ということだと考えているのです。

市長は、有利な借金である合併特例債の活用期限に間に合わせて、出来る限り必要なインフラ整備をして、来るべき公共施設整備にとっての「冬の時代」を複合化、多機能化、運営費用の軽減で乗り切りたいと考えているのではないかと推察します。

市長の考える今後の公共施設の「真の利活用方法」「真の施設整備の方向性」について市民に明確に丁寧に説明していくことは、非常に重要であると考えます。

そこで、三つの教育関連施設及びテラス沼田を含めた建設費及び改修費推計とランニングコストの推計と対応についてお聞きします。

答弁：施設の長期活用は、単年度当たりの更新費用が縮減されますし、機能や規模の最適化は、施設の有効活用と総量の削減に繋がるとともに、その分の維持管理費が縮減されるというように、コスト削減の効果をもたらします。

加えて、予防保全の重視など計画的な施設管理を推進することにより、維持管理費の縮減と更新投資の平準化に取り組んでいきます。

しかし、公共施設の再編は市民への影響が大きく、また、人口減少や少子高齢化の進行に伴う市民ニーズの変化への対応も同時に行わなければならないことから、「量から質へ」、本当に必要な施設や機能を慎重に見極め、質の高い市民サービスを維持しながら、本市の財政状況において維持できる適正な施設量の実現を図っていきたいと考えています。



質問：（仮称）利南運動広場整備事業は当初は住宅団地との関連でさまざまな経過の上に今日に至ったと認識しております。

また、この事業は、沼田公園長期整備計画の推進に向け、公園内の野球場とテニスコートをそのまま移転させるとしたのが、基本的なスタンスと認識しております。

このような経過、趣旨に照らしたとき、今回実施されようとしている本事業が、真にその適正規模であり適正費用であったか、その具体的内容を伺いたと思います。

関係者にとっては
**どうせ建てるなら
プロが来るような
立派な施設にしたら？**

一般市民にとっては
**野球場はいくつも
あるし建設維持費
は誰が負担するの？**

答弁：沼田公園内の野球場及びテニスコートは、スポーツ施設の規格に合った仕様でないことから、県レベルの大会を開催できない状況です。

このような状況から、スポーツにおける競技者の技術力の向上や指導者の育成を図るうえからも、規格に則したスポーツ施設が必要であり、併せて、建設コストやランニングコストの圧縮を強く意識し、検討してきました。

野球場の概要では、センター122メートル、両翼100メートル、内野席は800人対応、磁気反転式電光掲示板を計画しています。

テニスコートの概要は、砂入り人工芝コート8面、夜間照明は、レクリエーション照度を要した12基を設置する計画としています。

また、ジョギング・ウォーキングコースや芝生広場を設置することにより、レクリエーションや軽運動等にも利用できる計画です。



沼須新運動公園＝20億円 大分中津川球場＝14億円 鳥取米子市民球場＝20億円 太田市新野球場＝15億5千万円

昨年から着工し、本年3月オープン予定の新太田市球場は、メインスタンド2000＋内野席3000＋外野（芝生）1000＝6000で地元企業からの9億円の寄付を元手にプロポーザル方式で落札し、今年の都市対抗北関東大会会場となると聞いています。

単純比較ですが、沼須運動公園には、野球場にテニスコート＋多目的広場（ジョギングコース）がプラスで約5億円増額ということに…。

沼須野球場の主目的 ＝県レベル大会招致

左ページの答弁通り「県レベル大会」が招致可能か？また、現在維持管理している市内の野球場などの新たな利活用や統廃合はどうしていくのかやはり、気になるところです。

現在の運動公園の野球場 の今後の利活用は？

2ページ目にも記述した通り、合併特例債で施設整備することにも注意が必要だが、それ以上に気を配らなくてはいけないのは、正に既存の施設の維持管理含めた「利用頻度と目的」を明確にしていくことが求められています。

質問：野球を含めたスポーツ人口の推移を伺いながら先に述べた利用目的の整合性についてお聞きします。

また、建設に掛かる初期投資もさることながら維持費についても重要ですので、現在計画している事業内容での維持費の概算と市内の類似施設の今後の計画についても伺います。

答弁：（施設の）維持費の概算につきましては、年間約2,000万円かかることが予想されております。

市内における類似施設につきましては、沼田市公共施設等総合管理計画の推進を踏まえて、各施設の老朽化や使用状況を考慮するとともに、維持管理費や修繕費を抑制するなど、効率的かつ効果的な対応方法について検討しています。

市内運動施設関連維持費（H28年度決算 単位：円）	
運動公園管理事業	17,430,247
市民体育館管理事業	16,649,693
市民プール管理事業	16,649,693
川田運動広場維持管理事業	3,066,909
ニュースポーツ広場維持管理事業	2,197,136
白沢社会体育施設維持管理事業	4,303,061
利根社会体育施設維持管理事業	15,154,599
沼田公園内施設維持管理事業	1,222,836

体育館改修工事に関連して 国際基準への対応や利活用は

答弁：事前合宿につきましては、事前トレーニング候補地ガイドによりますと、「トレーニング会場として、各競技における国際競技連盟の技術要件を満たす機能や仕様が備わっていること」とされており、その主な内容は、空調設備、照度、相手チームが求めるピスト面数です。

また、次期国体会場に求められる基準では、事前合宿に伴う各国際競技連盟の基準で網羅されておりますが、その他、ピスト8面を設置することにより、フェンシング競技の基準が満たされます。

その他の競技につきましても、公式ルールに則した内容で、現在、実施設計を進めています。

今回の市民体育館の改修については、フェンシング専用の体育館ではなく、現在と同様に多目的に利用できる体育館として実施設計を進めています。今後の運営については、直営、業務委託、指定管理等の検討を行っていく考えです。



今後のスポーツや ジム施設運営は？

市民体育館管理費は年間約1660万円です。来年7月には街なかにテラス沼田がオープンし、7階には「介護予防スタジオ」に併設して「スポーツジム」も開設される予定です。

沼田市の今後のキーワードは「健康増進」で、私は学校部活動も含め、地域に開かれた柔軟で積極的な運動やスポーツ増進。老若男女の誰にもフィットする活動内容のレベルアップを目指していくべきと考えます。